



# どうぐのいえ

機械と道具をどのようにして区別できるだろうか。  
 機械とは、だれもが一定の目的を変わず達成できることを目指す。  
 対して道具とは、個人の手による慎重な操作によって、環境に対する融通性をもって目的を達成するものである。

電気、とりわけ家電製品を使わない家を考えるとき、建築の道具的側面が際立つのではないかと考えた。  
 建築を天候・光・気温といった環境の変化を打ち消す為の“機械”としてではなく、  
 融通を利かせて環境を乗り越えす為の“道具”として捉え直すことで、生活の感覚や豊かさについて考える。